



各 位

東京都港区西新橋一丁目6番21号
 インヴァスト証券株式会社
 代表取締役社長 川路 猛
 (JASDAQ コード: 8709)
 問合せ先: 執行役員CFO 二重作 将人
 (TEL 03-3595-4133)

2020年3月期第2四半期業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

2020年3月期(2019年4月1日~2019年9月30日)の第2四半期連結業績につき、前年同期実績との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期連結業績と前年同期実績との差異

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前第2四半期実績(A) (2019年3月期)	百万円 2,080	百万円 228	百万円 235	百万円 192	円 銭 32.69
当第2四半期実績(B) (2020年3月期)	2,320	5	20	15	2.63
増減額(B-A)	+239	△223	△215	△176	—
増減率(%)	+11.5	△97.6	△91.5	△92.0	—

2. 差異が生じた理由

2019年7月31日発表の「連結子会社における顧客決済不足金の回収遅延に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループの海外金融事業であるInvast Financial Services Pty Ltd.の顧客(ドバイ所在の合同会社1社)に決済不足金(以下、「当該不足金(立替金)」といいます。)が発生いたしました。

その残高は、当第2四半期末現在で259百万円となっております。当該不足金(立替金)の回収につきましては、ドバイの有力法律事務所と調査・協議を重ねてまいりましたが、依然として当該顧客の所在が不明であることや、別件で現地当局の捜査対象となっているような情報もあること等から、回収可能性が低いと判断いたしました。その結果、本件につきましては、特殊な事案ではあるものの、保守的に判断し、当該不足金(立替金)に対する貸倒引当金繰入額259百万円を当第2四半期連結決算において、販売費・一般管理費に計上いたしました。

これらの結果、当第2四半期の連結営業収益は2,320百万円となり、前年同期と比べ増収となったものの、当該不足金(立替金)の発生に伴い貸倒引当金繰入額259百万円を計上したことにより販売費・一般管理費が増加したことから、連結営業利益5百万円、連結経常利益20百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は15百万円となり、前年同期と比べ大幅に差異が発生いたしました。

当社グループは、「全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出す」という経営ビジョンのもと、海外金融事業の成長・拡大に注力しております。

このことから今回の事態を重く受け止め、今後はこのようなことが起こらないよう取引管理体制（口座開設時手続きの厳格化や、より保守的な必要証拠金維持率の設定、リスクモニタリングの強化等）を一層強化・整備することで再発防止に努め、海外金融事業の持続的な成長を目指してまいります。

詳細につきましては、本日発表の「2020年3月期 第2四半期決算短信[日本基準]（連結）」をご参照ください。

以上